



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 47 週 (11/20~11/26) 【概要版】

平成 29(2017)年 12 月 1 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎です。
 - (ア) 感染性胃腸炎は先週と比べて増加しました。4 保健所管内で先週と比べて増加しました。特に、甲賀および東近江保健所管内では大きく増加しました。
 - (イ) ノロウイルス食中毒注意報が 11 月 24 日(金)~12 月 13 日(水)を対象として発令されています。
- (2) 水痘は感染症発生動向調査では例年並みですが、本感染症週報に掲載している学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)においては、他疾患よりも多く入力されています(本週報最終項に水痘を特集していますのでご覧ください)。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	5.41	7.31	7.75				多	↑	↑	多		多	↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	1.16	0.88				多			多			多
手足口病	0.75	0.88	0.72		○					多	多	多	

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	4.89	7.31	4.43	4.25	3.14	2.52	3.71
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.50</u>	1.16	<u>2.16</u>	<u>1.76</u>	<u>2.73</u>	0.85	<u>2.44</u>
手足口病	<u>1.28</u>	0.88	0.62	0.79	<u>2.18</u>	0.81	0.51



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	3	6	3	○		1	1	1				
五類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	1			1						
五類	レジオネラ症	1	0	1	○								1
五類	アメーバ赤痢	0	1	1			1						
五類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	2	○		1					1	

- i. 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警;警報発令、注;注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. 「警;警報開始基準値を超過」、「注;注意報基準値を超過」、「多:今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑:前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 47 週 (11/20~11/26) 【詳細版】

平成 29(2017)年 12 月 1 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎です。
 (ア)感染性胃腸炎は先週と比べて増加しました。4 保健所管内で先週と比べて増加しました。特に、甲賀および東近江保健所管内では大きく増加しました。
 (イ)ノロウイルス食中毒注意報が 11 月 24 日(金)~12 月 13 日(水)を対象として発令されています。
 (2) 水痘は感染症発生動向調査では例年並みですが、本感染症週報に掲載している学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)においては、他疾患よりも多く入力されています(本週報最終項に水痘を特集しています)。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 (iv)						全国 (前週) (iv)	基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根		長浜	高島	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	0.34	0.23	0.47		○	0.73	0.70	0.43	0.50	0.14	0.29	0	0.77	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.72	1.03	0.63			1.14	0.33	0.25	0.40	0	0	3.50	0.76	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.13	0.09	0.22		○	0	0.17	0	0.60	0.50	0.25	0	0.67	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	1.16	0.88			1.00	0.50	0.50	2.00	0.50	0	2.00	2.50	8	4	—
	感染性胃腸炎	5.41	7.31	7.75			8.57	4.00	7.25	10.60	2.00	16.75	3.50	4.89	20	12	—
	水痘	0.47	0.56	0.63			0.57	0.33	0.50	1.60	0.50	0.50	0	0.56	7	4	4
	手足口病	0.75	0.88	0.72		○	0.29	0.33	0.50	1.80	1.00	1.00	0	1.28	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.06	2	1	—
	突発性発しん	0.38	0.28	0.25			0.43	0.17	0.25	0.20	0	0.50	0	0.43	—	—	—
	百日咳	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0	—
小児科 (定点数:32)	ヘルパンギーナ	0.50	0.69	0.19		○	0.43	0	0.25	0	0.25	0	0.50	0.23	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.44	0.56	0.38		○	0	0	0.25	1.00	1.25	0.25	0	0.31	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.25	0.25	0.38		○	0	1.00	1.00	0	0	0	1.00	0.83	8	4	—
眼科 (定点数:8)	細菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0.14	0.29	0			0	0	0	0	0	0	0	0.05	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.54	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
基幹 (定点数:7)	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0.14	0.14			0	0	0	0	0	1.00	0	0.12	—	—	—

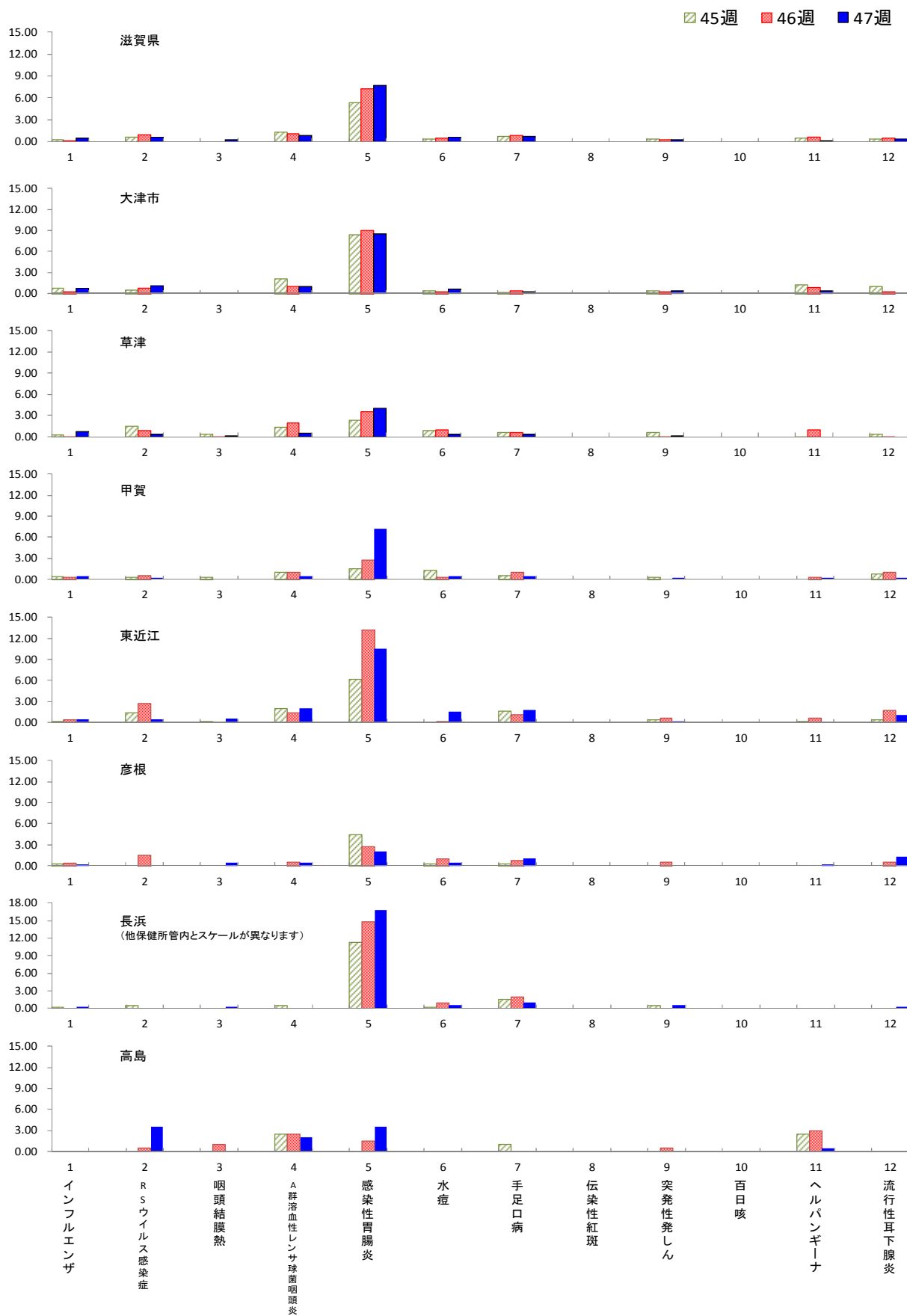
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	25	-	-	1	2	2	2	-	-	2	-	-	3	3	4	1	3	-	2	-	-
大津市保健所	8	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	1	2	-	1	-	1	-	-
草津保健所	7	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-
甲賀保健所	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
東近江保健所	4	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
彦根保健所	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

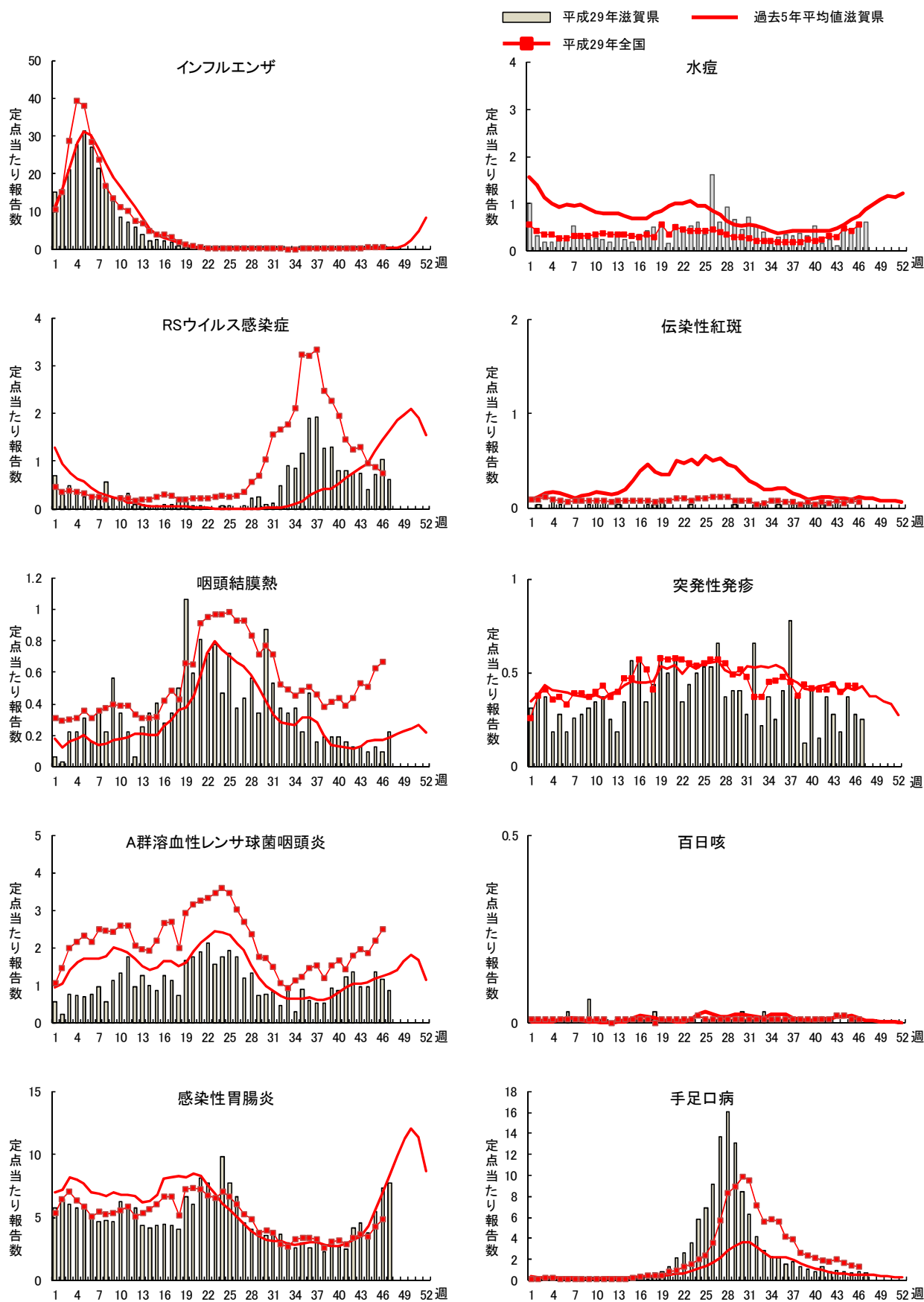
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	20	5	7	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	7	-	-	1	-	1	1	2	-	1	-	-	1	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	28	-	-	-	2	1	4	6	3	2	4	1	-	1	4
感染性胃腸炎	248	3	11	43	31	27	37	22	13	12	12	2	12	3	20
水痘	20	-	-	1	4	1	4	5	3	-	-	2	-	-	-
手足口病	23	-	-	7	6	1	4	1	1	-	-	-	2	-	1
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	12	-	-	-	-	-	-	3	2	1	2	4	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1

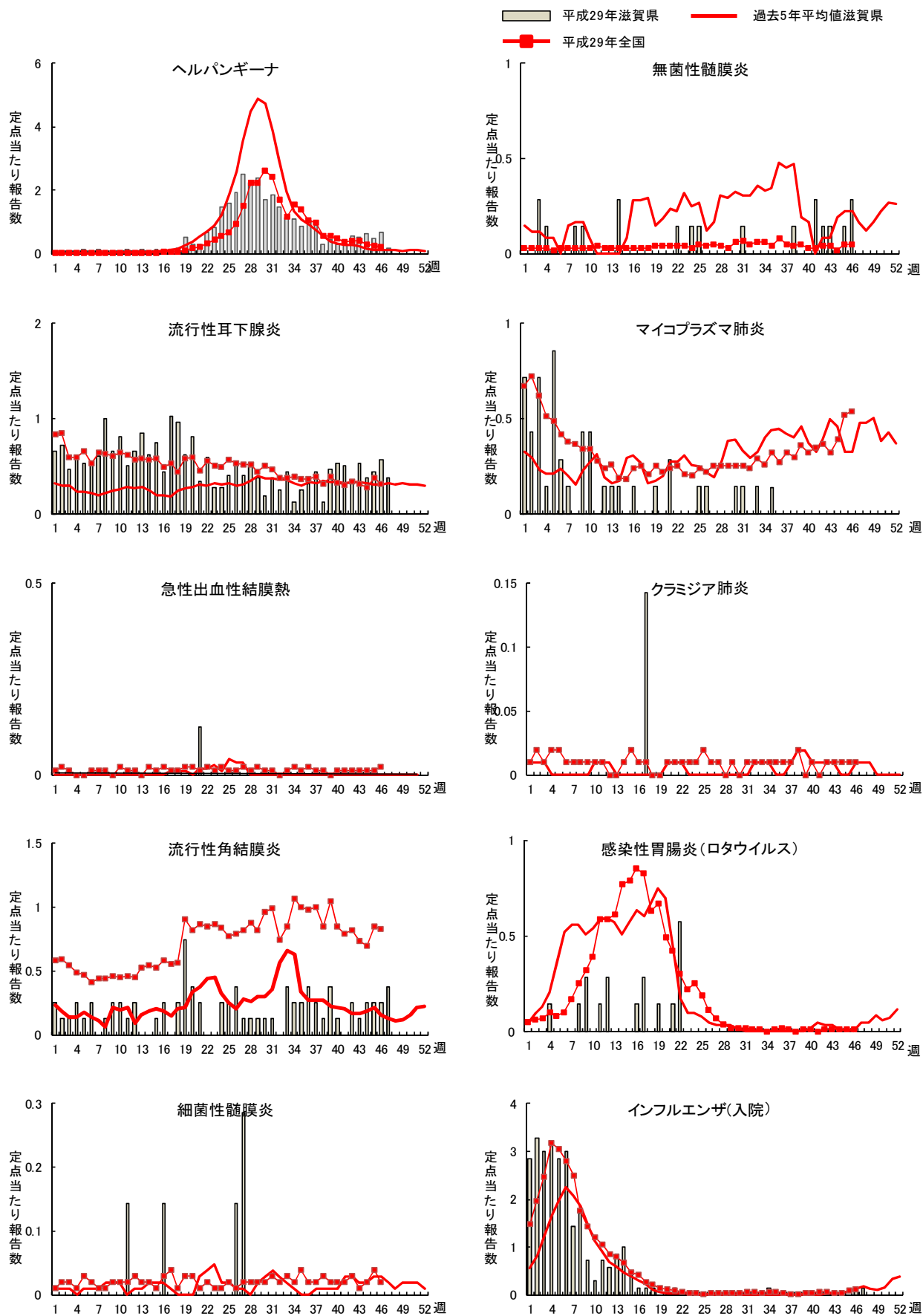
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」; 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	47	草津	50歳代	女	無症状病原体保有者	国内	-
	結核	47	甲賀	70歳代	男	肺結核	国外	-
	結核	47	東近江	30歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	47	草津	10歳未満	女		国内	O26 VT1
四類	レジオネラ症	47	高島	90歳代	男	肺炎型	県内	-
五類	アメーバ赤痢	47	大津市	30歳代	男	腸管アメーバ症	県内	異性間性的接触
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	46	草津	40歳代	女	腸炎	県内	<i>Enterobacter cloacae</i>
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	46	草津	90歳代	女	-	県内	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	47	大津市	60歳代	男	-	大津市保健所管内	ワクチン接種歴有
	侵襲性肺炎球菌感染症	47	長浜	10歳未満	女	-	長浜保健所管内	-

注目すべき感染症

■ ノロウイルス食中毒注意報発令中 平成 29 年 11 月 24 日(金曜日)～12 月 13 日(水曜日)

- (1) ノロウイルス食中毒注意報について(滋賀県健康医療福祉部生活衛生課食の安全推進室)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/shoku/shoku/02tyudoku/noro-tyuihou.html>
- (2) ノロウイルス等検出状況 2017/18 シーズン(2017 年 11 月 20 日現在報告数)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/2082-disease-based/na/norovirus/idsc/iasr-noro/5701-iasr-noro-150529.html>

■ インフルエンザ

- (1) 平成 29 年今冬のインフルエンザ総合対策(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>
- (2) 「平成 29 年度新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」資料(厚生労働省)
11 月 5 日、東京で開催された研修の資料が公開されています。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/kouen-kensyuukai/h29.html>

■ 水痘

- (1) 水痘(厚生労働省)
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/index.html
- (2) Strategies for the Control and Investigation of Varicella Outbreaks Manual, 2008(米国疾病予防管理センター)
<https://www.cdc.gov/chickenpox/outbreaks/manual.html>

■ 世界エイズデー(12 月 1 日)の啓発等の実施について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20171121.html>

■ 薬剤耐性(AMR)に係る全国的な普及啓発活動を推進するため、毎年 11 月は「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定されています。

- (1) 薬剤耐性(AMR)対策について(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html>
- (2) 薬剤耐性ワンヘルス動向調査年次報告書2017
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000180917.html>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 29 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○		230	71	58	19	36	20	16	10	20091	249	23854
			16.28	20.82	17.24	13.11	15.71	12.80	10.26	20.27	15.83	17.59	18.79
三類 腸管出血性大腸菌感染症			37	5	8	5	6	6	7	0	3747	56	3641
			2.62	1.47	2.38	3.45	2.62	3.84	4.49	0	2.95	3.96	2.87
四類 A型肝炎	○		5	0	0	2	2	1	0	0	247	7	269
			0.35	0	0	1.38	0.87	0.64	0	0	0.19	0.49	0.21
オウム病			0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	6
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.07	0.00
つつが虫病	○		1	0	1	0	0	0	0	0	184	1	500
			0.07	0	0.30	0	0	0	0	0	0.14	0.07	0.39
デング熱	○		3	2	0	0	1	0	0	0	230	4	338
			0.21	0.59	0	0	0.44	0	0	0	0.18	0.28	0.27
レジオネラ症	○		18	1	4	2	5	3	2	1	1594	28	1592
			1.27	0.29	1.19	1.38	2.18	1.92	1.28	2.03	1.26	1.98	1.25
五類 アメーバ赤痢			6	4	0	0	1	1	0	0	947	8	1133
			0.42	1.17	0	0	0.44	0.64	0	0	0.75	0.57	0.89
ウイルス性肝炎	○		4	2	1	1	0	0	0	0	259	4	273
			0.28	0.59	0.30	0.69	0	0	0	0	0.20	0.28	0.22
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○		13	0	7	1	4	0	1	0	1472	11	1555
			0.92	0	2.08	0.69	1.75	0	0.64	0	1.16	0.78	1.23
急性脳炎	○		4	1	1	0	1	1	0	0	597	3	750
			0.28	0.29	0.30	0	0.44	0.64	0	0	0.47	0.21	0.59
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		2	0	0	1	1	0	0	0	173	1	172
			0.14	0	0	0.69	0.44	0	0	0	0.14	0.07	0.14
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		14	3	6	0	3	0	2	0	486	5	492
			0.99	0.88	1.78	0	1.31	0	1.28	0	0.38	0.35	0.39
後天性免疫不全症候群	○		9	3	3	0	1	0	2	0	1222	10	1428
			0.64	0.88	0.89	0	0.44	0	1.28	0	0.96	0.71	1.13
ジアルジア症			1	1	0	0	0	0	0	0	50	4	71
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.04	0.28	0.06
侵襲性 インフルエンザ菌感染症			2	0	0	0	1	1	0	0	320	3	307
			0.14	0	0	0	0.44	0.64	0	0	0.25	0.21	0.24
侵襲性肺炎球菌感染症	○		43	21	5	3	7	1	6	0	2730	40	2693
			3.04	6.16	1.49	2.07	3.05	0.64	3.85	0	2.15	2.83	2.12
水痘(入院例)	○ ○		4	3	0	0	1	0	0	0	269	2	313
			0.28	0.88	0	0	0.44	0	0	0	0.21	0.14	0.25
梅毒	○		24	5	9	4	4	1	1	0	5053	30	4518
			1.70	1.47	2.67	2.76	1.75	0.64	0.64	0	3.98	2.12	3.56
播種性クリプトコックス症	○		1	0	0	1	0	0	0	0	117	2	136
			0.07	0	0	0.69	0	0	0	0	0.09	0.14	0.11
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	115	3	128
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.09	0.21	0.10
麻しん			1	0	0	0	0	0	1	0	188	1	159
			0.07	0	0	0	0	0	0.64	0	0.15	0.07	0.13

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

コメント 水痘は近江八幡市、彦根市と長浜市において特に多く入力されました。インフルエンザは増加、日野町および米原市で多く入力されています。

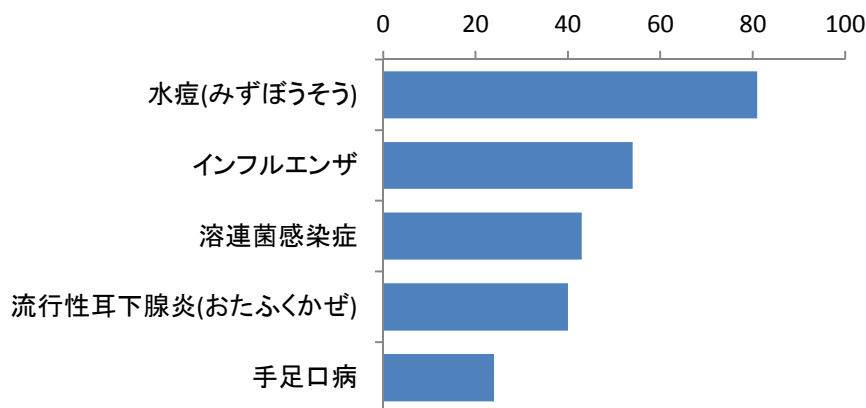


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)	http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html
病原微生物検出情報(IASR)	http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html
インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)	http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

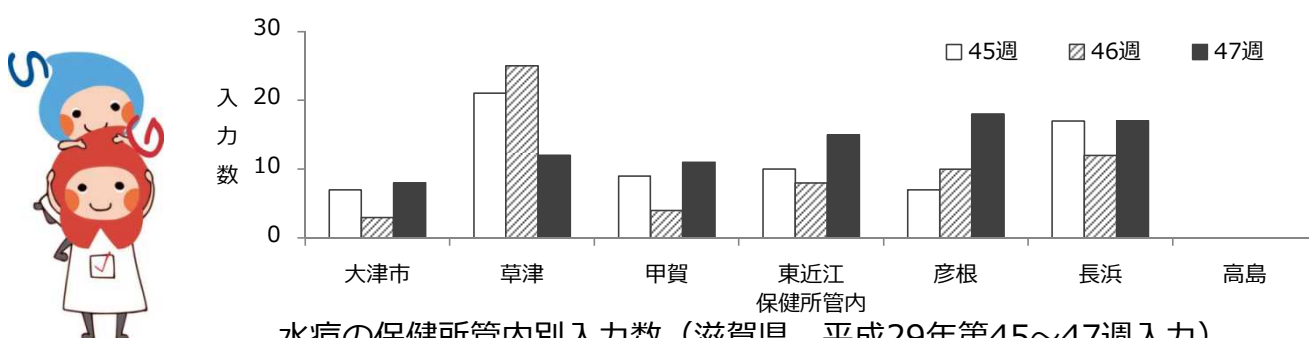
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



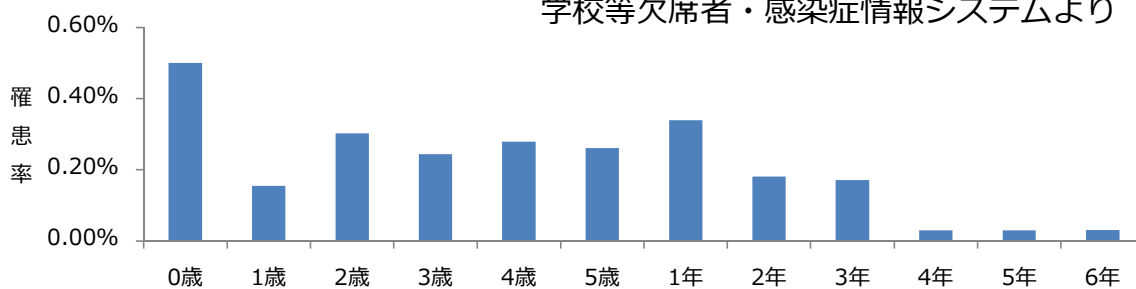
イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

滋賀県の多くの地域で水痘の増加を認めます 園内や校内での発生に備えてください

1. 水痘とは、水痘帯状疱疹ウイルスを原因として**空気感染**、飛沫感染および接触感染する**非常に感染拡大しやすい**疾患です。
2. 2-3週間の潜伏期間後に、発熱・倦怠感・発疹等の症状で発症します。主に**10歳以下の小児**で好発します。
3. 例年、**冬から春に流行**します。
4. 学校保健安全法においては、原則としてすべての発疹が痂皮化するまで出席停止の対象となります。



水痘の保健所管内別入力数 (滋賀県、平成29年第45~47週入力)
学校等欠席者・感染症情報システムより



水痘の年齢別罹患率 (滋賀県、平成29年第45~47週)
学校等欠席者・感染症情報システムより



1. 園・学校内の水痘の**罹患歴とワクチンの未接種者を確認**しておく、健康観察の重点対象を定めることができます。
2. 園・学校内に水痘と診断された園児・児童を認めた場合は、保護者に水痘発生と下に記した医療機関受診前の電話についてお知らせください。
3. 医療機関を受診する際は、「症状」と「所属する園・学校内に水痘と診断された園児・児童がいること」を**電話**で伝えてから受診してください。
4. 予防には**ワクチン接種が効果的**です。定期接種対象者は早期に接種してください。